

富山消防署から救急隊員、応急手当指導員、応急手当普及員の3名を講師にお迎えし、「普通救命講座」を開催しました。救急蘇生法として、胸骨圧迫（心肺蘇生）による方法に加え、AED（自動体外式除細動器）を使った体験実習を行いました。新型コロナ感染予防のため、人工呼吸は行わず、ひたすら胸骨圧迫を繰り返して心肺蘇生に取り組むようにと教わりました。

参加者のみなさんは、模範実演を見学した後グループに分かれ、実技に入りました。最初の動きはぎこちないものでしたが、徐々にコツをつかんで実習を終えました。

救命講座は、毎年水の事故が増える夏に開催しています。実際の現場で躊躇なく実習の成果が発揮出来るように、繰り返し参加していただきたい講座です。（受講人数 4日：19人 5日：22人）



胸骨圧迫による心肺蘇生法の実演及び体験実習



AED（自動体外式除細動器）を使った救急蘇生法の体験実習

